

第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和6年3月

沖縄市

目 次

1. 策定の趣旨と目的	1
2. 基本方針	
(1) 戦略の概要	2
(2) 本市の地域ビジョン	3
(3) 目標の設定と効果検証の仕組み	4
(4) 計画を推進するための考え方	5
(5) 国・県の取り組み	5
3. 第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略	
(1) 施策の方向性	6
(2) 基本目標および具体的な取り組み等	8
参考資料1 用語解説	21
参考資料2 第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の経緯	23

第3期 沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 策定の趣旨と目的

国は、少子高齢化の進展や東京圏への人口集中の是正に関する取り組みをすすめるため、平成26年に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、令和元年には、地方創生の意義や取り組みを継続・強化するため、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」および「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定しました。

その後、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現を図るため、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（計画期間：令和5～9年度）」を、令和4年12月23日に閣議決定しました。

沖縄県においては、総人口が増加基調で推移し、合計特殊出生率も全国1位を維持しているものの、出生数は減少傾向にあり、令和12年前後にピークを迎えた後、減少に転じることが見込まれています。

これまで、県では、「安心して結婚し出産・子育てができる社会」、「世界に開かれた活力ある社会」、「バランスのとれた持続的な人口増加社会」の実現に向け、平成27年に「沖縄県人口増加計画（改訂版）（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）～沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり～」を策定するとともに、令和2年には国の第2期総合戦略を勘案し、SDGsの視点等を取り入れるなど、計画を改訂しています。

その後、令和4年12月23日に閣議決定された国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案し、令和5年度に計画を改訂し、人口減少の克服に向けた取り組みをすすめています。

本市においても、こうした国や県の動向および基本的な考え方を勘案し、これまで進めてきた地域の社会課題解決や魅力向上に向けた地方創生の取り組みを、デジタルの力も活用して継承・発展させていくために、「第2期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、「第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

2. 基本方針

(1) 戦略の概要

① 戦略の構成

戦略は、(1) 基本目標(数値目標)、(2) 基本的方向、(3) 具体的な施策(重要業績評価指標 [KPI])、によって構成することとします。

② 計画期間

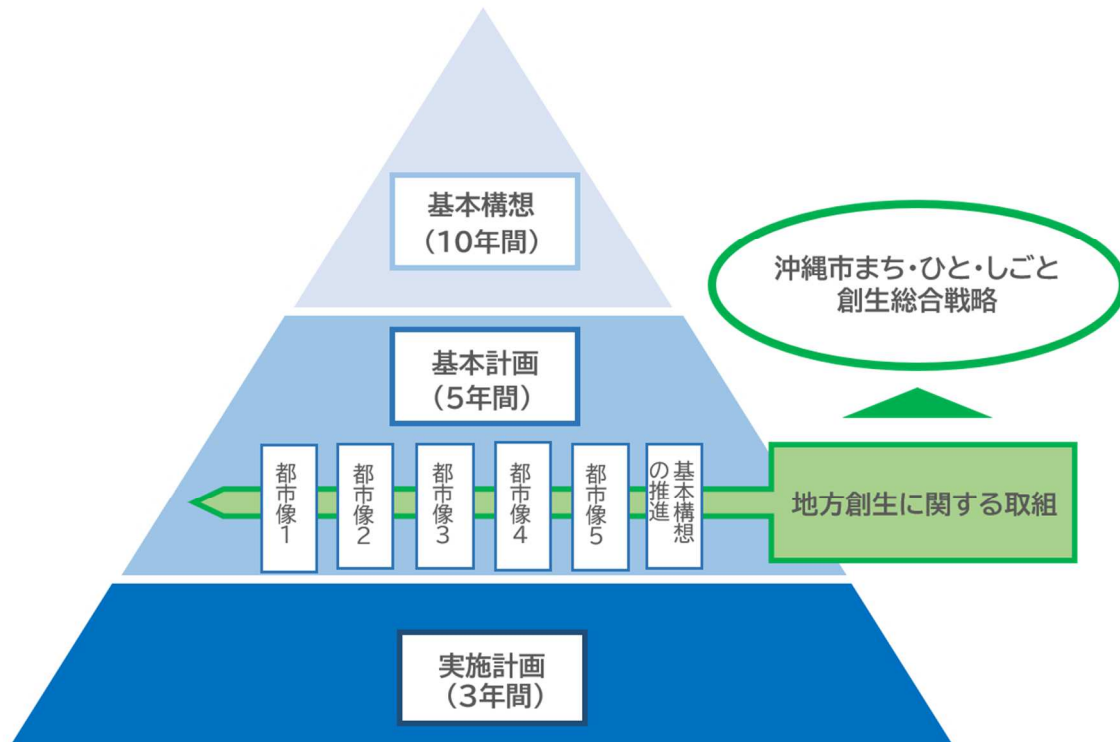
令和6(2024)年度～令和12(2030)年度

③ 本市の地域ビジョン(目指すべき理想像)

「国際文化観光都市」

④ 総合戦略の位置づけ

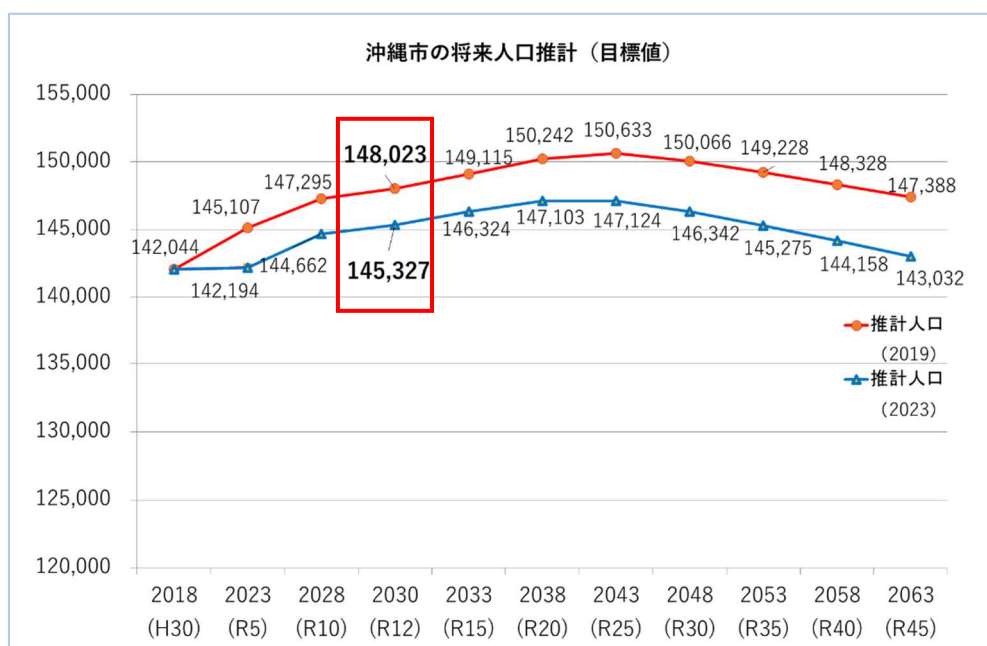
戦略は、第5次沖縄市総合計画 基本計画に位置付けた施策の方向を基本に、デジタルの力も活用した地方創生を図る観点から、基本計画を「基本目標」、「基本的方向」、「具体的な施策(重要業績評価指標 [KPI])」に沿って再構成したものです。



(2) 本市の地域ビジョン

①人口減少・少子高齢化などの社会課題

本市の将来人口推計は、令和元（2019）年に改定した沖縄市人口ビジョンを基本に、令和5年9月末までの出生数、死亡数、転入・転出者数を反映させると、同人口推計シミュレーションで設定した148,000人の目標人口より、約2,700人の人口増加幅の縮小が予測されます。そのため結婚・出産・子育てに希望をもって安心して暮らせるための支援や人口流出を防ぐための魅力的な地域づくり等を図るために、デジタルの力も活用してこれらの取り組みを加速化・深化させていく必要があります。



②本市の地域ビジョン（目指すべき理想像）

本市は、1974年（昭和49年）に、「健康で美しい沖縄市」、「明るくて住みよい沖縄市」、「平和で豊かな沖縄市」を市民の願い、望み、目標とする「国際文化観光都市」を宣言しました。その後、まちづくりを推進する柱として、「核兵器廃絶平和都市」や「スポーツコンベンションシティ」、「エイサーのまち」、「こどものまち」の宣言をおこなうなど、国際文化観光都市の実現に向け、本市の特色を活かしたまちづくりに取り組んできました。

これまで、5次にわたる総合計画において、「国際文化観光都市」を将来像として掲げ、市民のたゆまぬ努力と情熱により、県内第2の人口を有する都市として、発展し続けています。

沖縄市の誕生から半世紀を目前とする今日、目まぐるしく変化する社会情勢に対応しつつ、デジタル技術の活用や脱炭素社会の実現等を見据えた持続可能なまちを築くとともに、第5次沖縄市総合計画と一体的な取り組みをすすめるため、本戦略の地域ビジョン（目指すべき理想像）を「国際文化観光都市」とします。

(3) 目標の設定と効果検証の仕組み

①基本目標と目標設定の考え方

戦略においては、本市の地域ビジョン（目指すべき理想像）の実現に向け、国および沖縄県の総合戦略の趣旨を勘案するとともに、バックカスティングの考え方も意識しつつ、3つの基本目標を掲げ、これに関連した施策を位置付けています。

○基本目標1：稼ぐ力を高めるとともに、新しいひとの流れをつくる

本市の特色を活かした産業の振興や企業の競争力強化、創業支援等をすすめるとともに、観光やつながり等を活かした新しいひとの流れを生み出し、関係人口や定住人口の拡大を目指します。

○基本目標2：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

市民が結婚や子育てに対して展望を描ける環境をつくるとともに、こどもたち一人ひとりが可能性を發揮することができるまちづくりをはじめ、多様化する子育て家庭の様々なニーズに対応した取り組みをすすめます。

○基本目標3：魅力的な地域をつくる

都市機能の充実をはじめ、医療・福祉サービスや地域防災体制、地域の交通安全の確保など、安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりを推進するとともに、教育の充実や生涯学習の推進等を図ることで、魅力的な地域づくりに取り組みます。

②効果検証の仕組み

本総合戦略においては、EBPM（根拠に基づく政策立案）の考え方を意識し、基本目標及び施策ごとに次のとおり目標・指標を設け効果検証をおこなうとともに、PDCAサイクルを重視し、改善していく仕組みを構築します。

事項	目標の設定内容	設定期間	効果検証時期	効果検証の方法
基本目標	成果に着目した数値目標 (アウトカム)	7年	毎年	内部評価をおこなった後、 必要に応じ戦略の見直しを おこなう
施策	重要業績評価指標 (KPI) ※	7年	毎年	

※重要業績評価指標（KPI）

施策ごとの進捗状況を検証するために設定するものであり、基本目標がどの程度達成しているのかを把握するための定量的な指標。

(4) 計画を推進するための考え方

計画の推進にあたっては、国・県の戦略を勘案しつつ、本市の現状を考慮し、次のような考え方とします。

①横断的な目標 1 「多様な人材の活躍を推進する」についての考え方

社会の成熟化に伴い、価値観の多様化や社会参加意識が高まる中で、旺盛な行政需要に対応するためには、市民や様々な団体が連携したまちづくりをすすめることがより重要となることから、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できるよう、多様な人々が活躍できる環境づくりを積極的にすすめます。

②横断的な目標 2 「新しい時代の流れを力にする」についての考え方

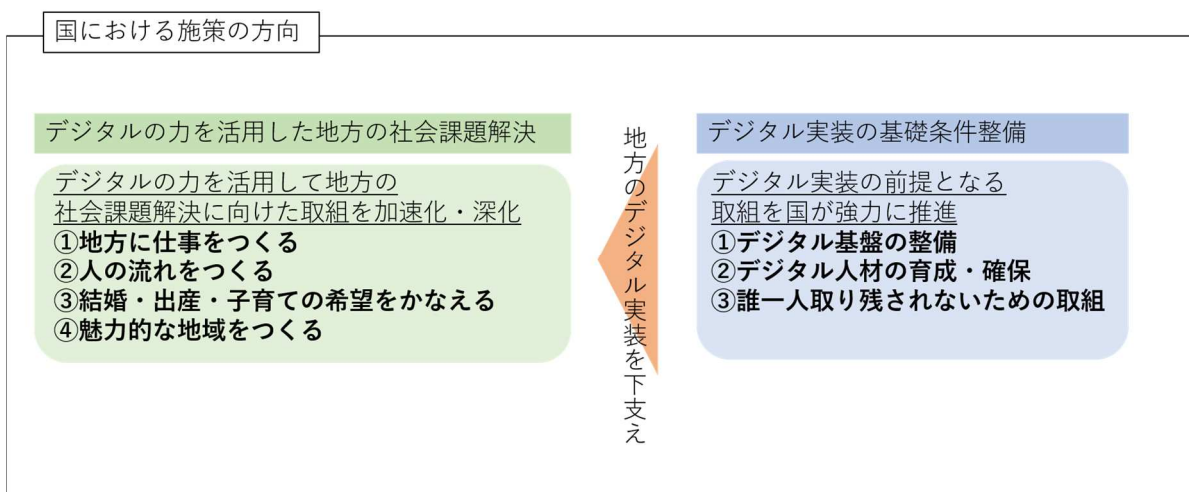
デジタル人材の育成・確保やデータ活用基盤の整備とともに、産業や教育、社会基盤・脱炭素などの様々な分野における未来技術の活用など、Society5.0 の推進に取り組みます。

また、施策の展開にあたっては、持続可能な開発目標（SDGs）を取り入れるとともに、企業版ふるさと納税等の活用を推進します。

(5) 国・県の取り組み

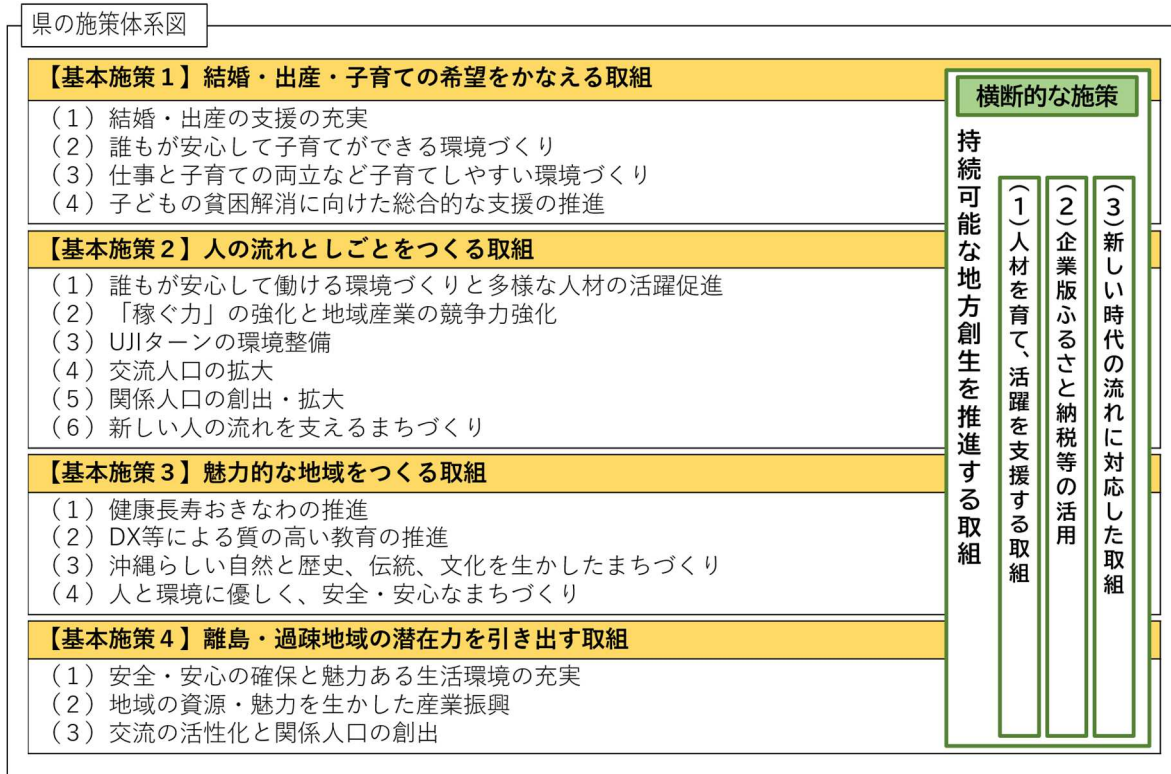
○国の総合戦略における基本目標

国は、第 3 期総合戦略において、「デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上」を掲げ、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる、の 4 つの分類によりそれぞれの取り組みを推進するとともに、この 4 つの施策の方向を下支えするため、①デジタル基盤の整備、②デジタル人材の育成・確保、③誰一人取り残されないための取組、の 3 つの取り組みをデジタル実装の基礎条件として整備するとしております。



○沖縄県の総合戦略における基本施策（目標）

県は、国の第 3 期総合戦略を勘案し、人口の将来展望を見直すとともに、新たにデジタル活用の視点を取り入れ、以下の通り、4 つの基本施策と 3 つの横断的な施策を位置づけています。



3. 第 3 期 沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(1) 施策の方向性

第 2 期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえつつ、国・県の基本的な考え方を勘案し、以下の基本目標と横断的な目標を設定します。

「第 5 次沖縄市総合計画 基本計画」における各分野の施策の方向のうち、地方創生に関する取組を、基本目標、基本的方向、具体的な施策に沿って再構成し、デジタル技術も活用した総合戦略として位置付けることによって、地方創生に向けた取り組みを総合的かつ計画的にすすめます。なお、本計画における「具体的な施策」の「主な取り組み内容」については、「第 5 次沖縄市総合計画 基本計画」で定める施策の方向と同じ順番で記載することとします。

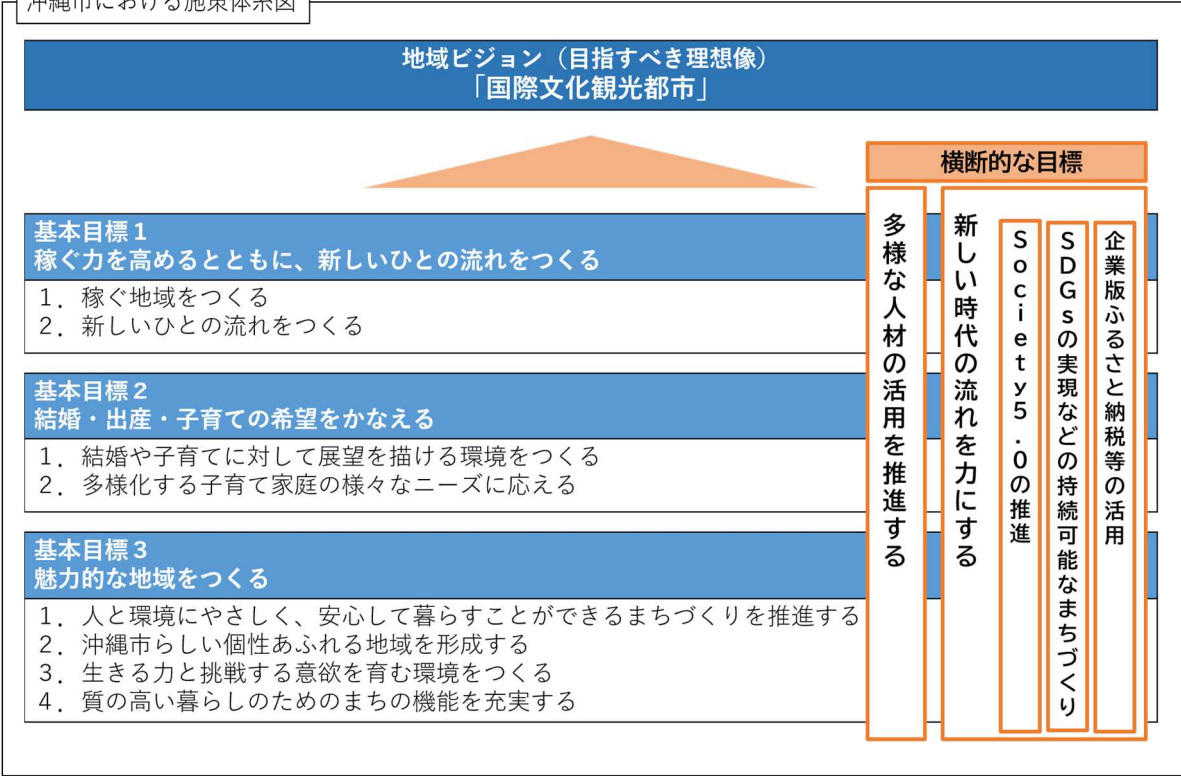
【基本目標】

- 1. 稼ぐ力を高めるとともに、新しいひとの流れをつくる
- 2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 3. 魅力的な地域をつくる

【横断的な目標】

- 1. 多様な人材の活躍を推進する
- 2. 新しい時代の流れを力にする
 - ① Society5.0 の推進
 - ② SDGs の実現などの持続可能なまちづくり
 - ③ 企業版ふるさと納税等の活用

沖縄市における施策体系図



(2) 基本目標および具体的な取り組み等

基本目標 1 稼ぐ力を高めるとともに、新しいひとの流れをつくる

■ 数値目標

指標	基準値（平成 27 年）	目標値（R12）
就業者数	64,000 人	69,000 人

《基本的方向》

- 観光環境の整備をはじめ、中心市街地などにおけるにぎわい空間の創出や企業誘致をおこなうとともに、商工業や地域を支える企業の振興に取り組みます。
また、一人ひとりが自らの能力を発揮できる多様な雇用を促進するとともに、創業を志す意欲的な人材の後押しや農水産業の振興に取り組みます。
- 市民が主体となった内外との交流を促進するとともに、テレワークやワーケーションなど、デジタルの力を活用した関係人口の拡大に取り組みます。
また、恵まれた環境を活かしたスポーツツーリズムを展開するとともに、エイサー・島唄・ロック等の個性的な文化をはじめとした魅力的な地域資源を磨き上げ、内外からの誘客を促進します。

《具体的な施策および重要業績評価指標（KPI）、主な取り組み内容》

1. 稼ぐ地域をつくる

商業やものづくり産業における人材の育成を支援するなど商工業の振興に取り組むとともに、バリアフリー観光等外国人を含めた観光客の受入環境の整備をおこないます。また、市内中小企業の競争力の維持・向上を図るとともに、情報通信関連産業および観光関連産業を中心とした企業誘致を推進します。

若年者の就業意識の向上や関係機関と連携した雇用のマッチング促進を図るとともに、デジタル人材の育成や創業者への支援等に取り組みます。

農産物・畜産物の安定生産やブランド化等に向けた支援をおこなうとともに、水産物の消費拡大促進や担い手の確保等を図ります。

(1) 地域を支える産業の競争力強化

- 安全で快適な観光と滞在型観光に向けた基盤づくり
- 東部海浜開発地区の価値を高める企業誘致の推進
- 中心市街地のにぎわい創出
- 魅力的な商店街づくりと商業の振興
- 中小企業の振興

- 企業誘致の推進
- 工芸によるまちづくりの推進
- 新たな技術の活用とブランディング
- 工業地域の活性化

(2) 創業支援と ICT 人材の育成・定着

- 就労支援の充実
- 創業支援と ICT 人材の育成

(3) 多様な産業と連携する持続可能な農水産業の振興

- 魅力ある農業の振興
- 優良畜産物の生産奨励と畜産経営の安定化
- 持続可能な水産業の振興

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
市内の主要ホテル延べ宿泊数	195,690 人	388,000 人
1 人当たりの市民所得 (県平均比較割合)	88%	100%
市内農家のスマート農業導入率	—	26%

2. 新しいひとの流れをつくる

兄弟都市や姉妹都市などの文化・教育等の幅広い分野における、市民等の主体的な交流を促進するとともに、コワーキングスペースの利用やワーケーションの促進等により、デジタルを活用した新たな関係人口の創出に取り組みます。

沖縄アリーナを軸とした周辺地域への回遊性向上を図るとともに、沖縄こどもの国の魅力向上に向けて取り組みます。また、エイサーをはじめ、魅力的な音楽文化等の地域資源およびモータースポーツやスポーツ合宿、国際大会などのスポーツを活かした観光誘客に取り組みます。

(1) つながり等を活かした交流の促進

- 国内交流の推進
- 国際交流の推進
- 企業誘致の推進

(2) 観光による交流の促進

- 沖縄アリーナの充実
- 沖縄こどもの国の魅力向上
- エイサーを活用した観光誘客
- 音楽によるまちづくりの推進

- 効果的なプロモーションの展開
- スポーツコンベンションの推進
- スポーツツーリズムの推進
- モータースポーツの振興

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（R12）
沖縄アリーナ来場者数	42 万人	53 万人
沖縄こどもの国来場者数	53 万人	88 万人
コワーキングスペース利用者数	－	6,700 人

基本目標 2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■ 数値目標

指標	基準値（平成 28 年）	目標値（R12）
合計特殊出生率	1.912	2.100

《基本的方向》

- 安心して子どもを産み育てられるまちづくりをすすめるとともに、性別に関わらず互いが対等な関係を築ける社会づくりに取り組みます。
- 子どもたちの心と体の健やかな成長を支えるとともに、生まれ育った環境に左右されることなく、一人ひとりが夢や希望を持ち、可能性を發揮することができるこどものまちづくりに取り組みます。

《具体的な施策および重要業績評価指標（KPI）、主な取り組み内容》

1. 結婚や子育てに対して展望を描ける環境をつくる

男女共同参画社会やワークライフ・バランスの実現により、多様な働き方が選択できる環境をつくとともに、子育て世代等の様々なニーズに対応するきめ細やかな就労支援に取り組みます。また、質の高い保育を提供するとともに、児童館の整備・運用や放課後児童クラブの質の向上に取り組みむなど、地域におけるこどもの居場所づくりを推進します。

（1）子育て世代の就労支援

- 男女共同参画社会づくりの推進
- 就労支援の充実
- 多様な働き方と就労環境づくりの支援

(2) 質の高い保育を提供する

- 多様な保育サービスの提供
- 市立保育所の充実
- 認可外保育施設への支援

(3) 地域におけるこどもの居場所づくりを推進する

- 児童館の整備・運用
- 放課後児童クラブの充実
- 放課後子ども教室の推進

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
人権に関するイベント等の参加者数	523 人	1,265 人
待機児童数	100 人	0 人
公設放課後児童クラブの定員数	213 人	300 人

2. 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える

子どもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるとともに、関係機関と連携した妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援や発達の良い気になる子と保護者への総合的な支援をおこないます。また、子育て世帯の経済的負担軽減を図るとともに、地域における子育て支援の充実や子育てに関する不安や孤立感の軽減に取り組みます。

(1) 子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす

- こどものまちづくりの推進
- すべてのこどもが夢と希望を持てる社会づくり

(2) 親子の健康を守りこどもの発達を促進する

- 母子保健の推進
- 発達の良い気になる子への支援
- こども医療費の支援

(3) こどもを大切に育てるための環境をつくる

- 子育て世帯の養育力の向上支援
- ひとり親家庭の支援
- 要保護児童等の支援
- 地域における子育て支援

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（R12）
こどもの居場所利用者数	38,285 人(R4)	40,500 人
乳幼児健康診査受診率	89.1%	95.7%
地域における子育て支援サービス利用延べ人数	35,850 人	49,454 人

基本目標 3 魅力的な地域をつくる

■ 数値目標

指標	基準値（平成 30 年）	目標値（R12）
社会増減	△281 人	0 人

《基本的方向》

- 平和と人権尊重の心を次世代につなぐとともに、文化を活かしたまちの魅力創出や生涯にわたる学習とスポーツの推進、魅力ある地域社会の構築に取り組みます。
- 子どもたち一人ひとりが新しい時代を切り開くために必要となる生きる力を育むとともに、豊かな心と挑戦する意欲を育む環境をつくります。
- 誰もが安心して暮らせる社会の構築および生涯の健康づくりの支援をすすめるとともに、多様な主体と連携し、将来にわたり持続可能な行政運営に取り組みます。
- 環境と共生する社会の構築や地域の防災・安全対策の推進、快適で良好な都市の創出に取り組むとともに、暮らしや地域経済を支える交通空間の形成および心やすらぐ住みよい環境づくりを推進します。

《具体的な施策および重要業績評価指標（KPI）、主な取り組み内容》

1. 人と環境にやさしく、安心して暮らすことができるまちづくりを推進する

平和の尊さを継承・発信するため、戦跡めぐりや平和講座の開催、平和大使の育成などに取り組むとともに、互いの人権が尊重される社会の実現に向け、市民の人権意識高揚を図ります。

だれもが安心して暮らせる社会を実現するため、各種福祉サービスの充実およびライフステージに応じた健康づくりの促進に取り組みます。

自然環境の保全や地球温暖化対策の推進など、環境に配慮した取り組みをすすめるとともに、防災や防犯、交通安全などの対策をおこないます。

多様な主体と連携するなど、持続可能な活力ある地域社会の実現に向けた取り組みをすすめるとともに、組織マネジメントの強化や DX の推進、財政の健全化など、将来を見据えた行政運営を推進します。

(1) 平和・人権を尊重する地域社会づくりを推進する

- 平和行政の推進
- 市民の主体的な平和活動への支援
- 人権意識の普及
- 権利擁護体制の充実
- 虐待等の防止と支援体制の強化
- 男女共同参画社会づくりの推進
- 基地から派生する諸問題への対応
- 統合計画にかかる施設配置計画と早期返還への対応
- 日米地位協定の抜本的な見直し

(2) 地域共生社会を推進する

- 福祉のまちづくりの推進
- 福祉コミュニティの充実

(3) 高齢者が躍動する社会づくりを推進する

- 地域包括ケアシステムの推進
- 在宅生活と社会参加への支援
- 認知症の予防と共生の推進
- 介護保険サービスの充実と制度の適正運営

(4) 障がいの有無にかかわらず自らの能力を最大限に発揮できるまちをつくる

- 障がい者等の日常生活と社会生活の自立支援
- 障がい者等の自己決定および社会参加の支援に向けた環境づくり

(5) 自立に向けた安定的な暮らしと社会参加を促進する

- 将来の安心を支える国民年金制度の普及促進
- 生活困窮者の自立促進
- 生活保障と自立支援

(6) ライフステージに応じた健康づくりを推進する

- 自ら取り組む健康づくりの推進
- 生活習慣病対策の推進
- こころの健康づくりの推進
- 感染症対策の推進
- 国民健康保険の適正な運営と後期高齢者医療制度の連携実施

(7) 地球環境にやさしくきれいなまちを築く

- 自然環境と生活環境の保全
- 地球温暖化対策の推進
- 循環型社会づくりの推進
- まちの美化活動の推進

(8) 強さとしなやかさを備えたまちを築く

- 防災・減災対策の推進
- 地域防災力の向上
- 避難行動要支援者や災害を受けた市民への支援

(9) 消防・救急・救助体制を強化する

- 多様化する災害・事故への迅速かつ的確な対応
- 火災予防対策の推進
- 地域・企業等と連携した救護体制の拡充

(10) 防犯対策を推進し安全・安心なまちを築く

- 地域における防犯体制の充実
- 防犯環境づくりの推進
- 消費者被害防止対策の推進

(11) 地域とともに交通安全対策をすすめる

- 交通安全教育・運動の推進
- 交通安全の確保

(12) 共創のまちづくりと将来を見据えた行財政運営の推進

- 多様な主体との連携
- 開かれた行政の推進
- SDGs の推進
- 地域活性化への取り組み
- 職員力の向上と組織マネジメントの強化
- 情報化の推進
- 広域連携の推進
- 財政の健全化と歳入の確保
- 公共施設等の適正な管理
- 民間能力の活用

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
平和学習コンテンツ サイトの PV 数	165,124PV	236,000PV
特定健康診査受診率	35.9%	43.0%
市内の温室効果ガス排出量	892.0 千 t-co2 (H30)	822.9 千 t-co2
自主防災組織の 防災訓練等実施率	61%	100%

2. 沖縄市らしい個性あふれる地域を形成する

エイサーや沖縄民謡等を支える次世代の育成や文化芸術団体等の活動支援に取り組むとともに、戦後文化や文化財の持つ価値を発信するなど、文化によるまちづくりを推進します。

また、生涯学習フェスティバルの充実や社会教育施設の機能強化、各種スポーツ団体への支援など、学びやスポーツを身近に感じられる環境をつくとともに、自治会加入促進や地域コミュニティ活動拠点施設の整備など、魅力的な地域づくりに取り組みます。

(1) 文化によるまちづくりを推進する

- コザ文化の継承・発展
- 文化芸術の振興
- 戦後文化の発信と歴史学習の支援
- 文化財の保存と活用

(2) いつでもどこでもだれでも学び・スポーツができる環境をつくる

- 生涯学習の推進
- 地域活動と学びの支援
- 市民スポーツの推進

(3) 認め合い支えあう地域づくりを推進する

- 信頼し支えあう地域づくりへの支援
- 地域コミュニティ活動拠点施設の整備
- 多文化共生の推進

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
文化芸能コンクール等 受賞者数	49 人	105 人
体育施設・用具の利用者数	456,788 人	929,000 人
自治会加入世帯率	25.4%	30.0%

3. 生きる力と挑戦する意欲を育む環境をつくる

個に応じた学習指導や教員のキャリアステージに応じた研修の充実など、子どもたちが質の高い教育を受けられることができるよう環境を整備するとともに、青少年センターにおける相談支援をはじめ、こどもの国における様々な体験活動や企画展の充実など、青少年の健全育成を推進します。

(1) こどもの発達や学びの連続性をふまえた幼児教育を推進する

- 市立幼稚園の充実

- 特別支援教育の充実
- 保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の連携の強化

(2) 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成する

- 学力・学習意欲の向上
- 情操教育・健康な体の育成
- 教員の資質向上
- 地域とともにある学校づくりの推進

(3) 個に応じた支援を推進する

- 教育相談の充実
- 就学にかかる負担軽減
- 特別支援教育の充実
- 外国籍等の児童生徒への支援

(4) 安全・安心に教育を受けることができる環境をつくる

- 学校教育施設の整備
- 学校給食の充実
- 安全管理体制の充実
- 学校規模の適正化

(5) こどもの主体的な取り組みを応援する

- こどもの声を活かしたまちづくり
- こどもの文化・スポーツ活動への支援
- 沖縄こどもの国の充実

(6) 青少年の健全育成を推進する

- 健全育成に向けた環境づくり
- 体験活動の充実

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
全国学力調査結果	小 +2.3 中 -8.8	小 ±0 中 ±0
児童生徒登校率	97.5%	98.5%

4. 質の高い暮らしのためのまちの機能を充実する

都市機能の充実を図るため、用途地域の見直しなど地域の実情に応じた土地利用の検討をはじめ、環境に配慮した東部海浜開発事業を推進するとともに、道路や住宅等の都市基盤整備に取り組みます。

(1) 地域の特性を活かした快適な都市を形成する

- 適正かつ計画的な市土の形成
- 魅力ある景観の創出と緑のネットワーク構築
- 基地跡地の計画的な土地利用の促進
- 墓地対策の推進と火葬場の確保
- 快適な公共施設等の整備・促進

(2) 市街地の機能向上を図る

- 中心市街地の都市機能向上とまちなか定住促進
- 美里第二土地区画整理事業の早期整備完了
- わかりやすい住居表示の推進

(3) 東部海浜開発事業を推進する

- 埋立事業の早期整備促進
- 土地利用計画の推進
- 環境に配慮した取り組み

(4) 安全で快適な交通環境を整備する

- 総合的な交通体系構築の促進と道路の整備
- 公共交通ネットワークの利便性向上
- 道路の計画的な維持管理・有効活用

(5) 住生活の安定の確保に取り組む

- 市営住宅の長寿命化の推進
- 市営住宅の早期建替え
- 安全・安心な住環境の整備促進

(6) 魅力あるレクリエーションや憩いの場等を創出する

- 計画的な公園の整備
- 地域と一体となった維持管理
- 緑と花あふれる空間の創出

(7) 健全で安定的な上下水道の事業を推進する

- 上下水道事業の健全経営の推進
- 上水道施設の整備
- 下水道施設の整備および接続の促進
- 浸水対策

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (R12)
沖縄市人にやさしい まちづくり環境整備事前協議	8 件/年	22 件/年
特定空家等候補の件数	134 件	79 件
一人当たりの都市公園の面積	9.0 m ²	9.31 m ²

別表：施策体系図

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取組内容
基本目標1 稼ぐ力を高めるとともに、新しいひとの流れをつくる	1. 稼ぐ地域をつくる	(1) 地域を支える産業の競争力強化	○安全で快適な観光と滞在型観光に向けた基盤づくり
			○東部海浜開発地区の価値を高める企業誘致の推進
			○中心市街地のにぎわい創出
		(2) 創業支援とICT人材の育成・定着	○魅力的な商店街づくりと商業の振興
			○中小企業の振興
			○企業誘致の推進
	2. 新しいひとの流れをつくる	(1) つながり等を活かした交流の促進	○企業誘致の推進
			○工芸によるまちづくりの推進
		(2) 観光による交流の促進	○新たな技術の活用とブランディング
			○工業地域の活性化
基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1. 結婚や子育てに対して展望を描ける環境をつくる	(1) 子育て世代の就労支援	○就労支援の充実
			○多様な働き方と就労環境づくりの支援
			○多様な保育サービスの提供
		(2) 質の高い保育を提供する	○市立保育所の充実
			○認可外保育施設への支援
			○児童館の整備・運用
	2. 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える	(1) こどもたち一人ひとりの可能性を伸ばす	○放課後児童クラブの充実
			○放課後子ども教室の推進
		(2) 親子の健康を守り子どもの発達を促進する	○こどものまちづくりの推進
			○すべてのこどもが夢と希望を持てる社会づくり
(3) 子どもを大切に育てるための環境をつくる	○母子保健の推進		
	○発達の気になる子への支援		
	○子ども医療費の支援		
	○子育て世帯の養育力の向上支援		

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取組内容
基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1. 結婚や子育てに対して展望を描ける環境をつくる	(1) 子育て世代の就労支援	○男女共同参画社会づくりの推進
			○就労支援の充実
			○多様な働き方と就労環境づくりの支援
		(2) 質の高い保育を提供する	○多様な保育サービスの提供
			○市立保育所の充実
			○認可外保育施設への支援
	2. 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える	(1) こどもたち一人ひとりの可能性を伸ばす	○児童館の整備・運用
			○放課後児童クラブの充実
		(2) 親子の健康を守り子どもの発達を促進する	○放課後子ども教室の推進
			○こどものまちづくりの推進
(3) 子どもを大切に育てるための環境をつくる	○すべてのこどもが夢と希望を持てる社会づくり		
	○母子保健の推進		
	○発達の気になる子への支援		
	○子ども医療費の支援		

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取組内容
基本目標3 魅力的な地域をつくる	1. 人と環境にやさしく、安心して暮らすことができるまちづくりを推進する	(1) 平和・人権を尊重する地域社会づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○平和行政の推進 ○市民の主体的な平和活動への支援 ○人権意識の普及 ○権利擁護体制の充実 ○虐待等の防止と支援体制の強化 ○男女共同参画社会づくりの推進 ○基地から派生する諸問題への対応 ○統合計画にかかる施設配置計画と早期返還への対応 ○日米地位協定の抜本的な見直し
		(2) 地域共生社会を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉のまちづくりの推進 ○福祉コミュニティの充実
		(3) 高齢者が躍動する社会づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの推進 ○在宅生活と社会参加への支援 ○認知症の予防と共生の推進 ○介護保険サービスの充実と制度の適正運営
		(4) 障がいの有無にかかわらず自らの能力を最大限に発揮できるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者等の日常生活と社会生活の自立支援 ○障がい者等の自己決定および社会参加の支援に向けた環境づくり
		(5) 自立に向けた安定的な暮らしと社会参加を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の安心を支える国民年金制度の普及促進 ○生活困窮者の自立促進 ○生活保障と自立支援
		(6) ライフステージに応じた健康づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら取り組む健康づくりの推進 ○生活習慣病対策の推進 ○こころの健康づくりの推進 ○感染症対策の推進 ○国民健康保険の適正な運営と後期高齢者医療制度の連携実施
		(7) 地球環境にやさしくきれいなまちを築く	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境と生活環境の保全 ○地球温暖化対策の推進 ○循環型社会づくりの推進 ○まちの美化活動の推進
		(8) 強さとしなやかさを備えたまちを築く	<ul style="list-style-type: none"> ○防災・減災対策の推進 ○地域防災力の向上 ○避難行動要支援者や災害を受けた市民への支援
		(9) 消防・救急・救助体制を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ○多様化する災害・事故への迅速かつ的確な対応 ○火災予防対策の推進 ○地域・企業等と連携した救護体制の拡充
		(10) 防犯対策を推進し安全・安心なまちを築く	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における防犯体制の充実 ○防犯環境づくりの推進 ○消費者被害防止対策の推進
		(11) 地域とともに交通安全対策をすすめる	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全教育・運動の推進 ○交通安全の確保
		(12) 共創のまちづくりと将来を見据えた行財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体との連携 ○開かれた行政の推進 ○SDGsの推進 ○地域活性化への取り組み ○職員力の向上と組織マネジメントの強化 ○情報化の推進 ○広域連携の推進 ○財政の健全化と歳入の確保 ○公共施設等の適正な管理 ○民間能力の活用

基本目標	基本的方向	具体的施策	主な取組内容
基本目標3 魅力的な地域をつくる	2. 沖縄らしい個性あふれる地域を形成する	(1)文化によるまちづくりを推進する	○コザ文化の継承・発展 ○文化芸術の振興 ○戦後文化の発信と歴史学習の支援 ○文化財の保存と活用
		(2)いつでもどこでもだれでも学び・スポーツができる環境をつくる	○生涯学習の推進 ○地域活動と学びの支援 ○市民スポーツの推進 ○信頼し支えあう地域づくりへの支援 ○地域コミュニティ活動拠点施設の整備 ○多文化共生の推進
		(3)認め合い支えあう地域づくりを推進する	○市立幼稚園の充実 ○特別支援教育の充実 ○保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の連携の強化
	3. 生きる力と挑戦する意欲を育む環境をつくる	(1)こどもの発達や学びの連続性をふまえた幼児教育を推進する	○学力・学習意欲の向上 ○情操教育・健康な体の育成 ○教員の資質向上 ○地域とともにある学校づくりの推進
		(2)確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成する	○教育相談の充実 ○就学にかかる負担軽減 ○特別支援教育の充実 ○外国籍等の児童生徒への支援
		(3)個に応じた支援を推進する	○学校教育施設の整備 ○学校給食の充実 ○安全管理体制の充実 ○学校規模の適正化
		(4)安全・安心に教育を受けることができる環境をつくる	○こどもの声を活かしたまちづくり ○こどもの文化・スポーツ活動への支援 ○沖縄こどもの国の充実
		(5)こどもの主体的な取り組みを応援する	○健全育成に向けた環境づくり ○体験活動の充実
		(6)青少年の健全育成を推進する	○適正かつ計画的な市土の形成 ○魅力ある景観の創出と緑のネットワーク構築 ○基地跡地の計画的な土地利用の促進 ○墓地対策の推進と火葬場の確保 ○快適な公共施設等の整備・促進
	4. 質の高い暮らしのためのまちの機能を充実する	(1)地域の特性を活かした快適な都市を形成する	○中心市街地の都市機能向上とまちなか定住促進 ○美里第二土地区画整理事業の早期整備完了 ○わかりやすい住居表示の推進
		(2)市街地の機能向上を図る	○埋立事業の早期整備促進 ○土地利用計画の推進 ○環境に配慮した取り組み
		(3)東部海浜開発事業を推進する	○総合的な交通体系構築の促進と道路の整備 ○公共交通ネットワークの利便性向上 ○道路の計画的な維持管理・有効活用
		(4)安全で快適な交通環境を整備する	○市営住宅の長寿命化の推進 ○市営住宅の早期建替え ○安全・安心な住環境の整備促進
		(5)住生活の安定の確保に取り組む	○計画的な公園の整備 ○地域と一体となった維持管理 ○緑と花あふれる空間の創出
		(6)魅力あるレクリエーションや憩いの場等を創出する	○上下水道事業の健全経営の推進 ○上水道施設の整備 ○下水道施設の整備および接続の促進 ○浸水対策
		(7)健全で安定的な上下水道の事業を推進する	

参考資料 1

用語解説

	用語	意味	ページ
こ	合計特殊出生率	15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。	10
	コワーキングスペース	独立して働く個人が、机・椅子・ネットワーク設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所のこと。利用者同士の積極的な交流や共働といったコミュニティ形成を促すという点において、従来のレンタルオフィスとは異なり、月極や時間制で借りる形式のものが多い。	9
す	スポーツツーリズム	プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などをめざす取り組みのこと。	8
	スマート農業	ロボット、AI、IoT など先端技術を活用する農業のこと。作業の自動化やデータの活用等により高度な農業経営が可能となる。	9
て	デジタル人材	デジタル技術を活用し、新たな価値を提供できる人材のこと。	8
	テレワーク	I C T（情報通信技術）等を活用し、普段仕事を行う事業所・仕事場とは違う場所で仕事をする事。	8
は	バックキャストिंग	ありたい未来の実現方法を未来から逆算して設計する手法・考え方のこと。	4
ふ	ブランディング	ブランド化を図ること。地域発の商品・サービスのブランド化と、地域イメージのブランド化を結びつけ、好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化を図ることが期待される。	9
ら	ライフステージ	人生の一生を乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、老年期などと分けたそれぞれの段階のこと。	12
わ	ワーケーション	Work（仕事）と Vacation（休暇）を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、同時に余暇も過ごすこと。	8

D	DX	「デジタル・トランスフォーメーション」の略。ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念とされており、沖縄市 DX 推進計画では「地域の発展や課題解決を目的に、デジタル技術やデータを活用して利用者目線に立った新たな価値を創出する」と定義。	12
E	EBPM	エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング（根拠に基づく政策立案）。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする考え方のこと。	4
I	ICT	Information and Communication Technology の略。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。	9
P	PDCA	継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の頭文字。	4
	PV 数 (ページビュー数)	ユーザーが Web ページを表示（閲覧）した回数。	14
S	SDGs	持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）。2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。	5
S	Society5.0 (ソサエティー5.0)	AI や IoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿。	5
U	UIJ ターン	U ターン・I ターン・J ターンの総称。地方等に住んでいた人が就職等をきっかけに上京したり、その後、首都圏から上京前の居住地に戻ったりといった動きのこと。	6

参考資料 2

第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の経緯

令和5年11月21日 ……第1回沖縄市まち・ひと・しごと創生本部

令和5年12月5日 ……第2回沖縄市まち・ひと・しごと創生本部

令和5年12月11日 ……第1回沖縄市総合計画審議会

令和6年1月19日 ……第2回沖縄市総合計画審議会

令和6年1月29日 ……第3回沖縄市総合計画審議会

令和6年1月29日 ……沖縄市総合計画審議会からの答申

令和6年2月6日 ……第3回沖縄市まち・ひと・しごと創生本部

令和6年2月7日～3月8日 ……パブリックコメントの実施

令和6年3月12日 ……第4回沖縄市まち・ひと・しごと創生本部

令和6年3月15日 ……第3期沖縄市まち・ひと・しごと創生総合戦略市長決裁